

# 令和7年度第24回ヨコハマeアンケート 暑さ対策に関するアンケート

実施期間 令和8年2月20日（金）から3月2日（月）  
事業所管課 脱炭素・GREEN×EXPO推進局 脱炭素ライフスタイル推進課

回答者数 1,405人（回答率：28.0%）  
【参考】eアンケートメンバー数 5,006人（2月20日時点）

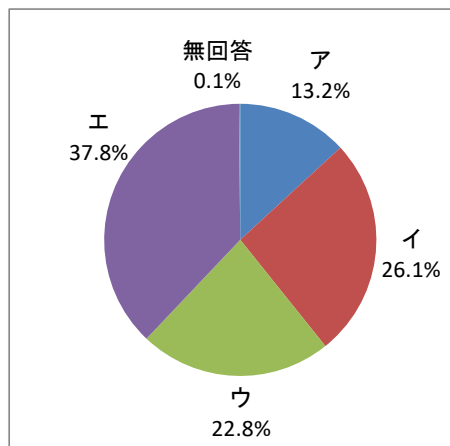
年代別、横浜市内在住・在勤・在学別の回答者構成比

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	計
横浜市内在住	1 (0.1%)	11 (0.8%)	72 (5.1%)	174 (12.4%)	384 (27.4%)	441 (31.4%)	315 (22.4%)	1,398 (99.6%)
横浜市内在勤	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.1%)	1 (0.1%)	2 (0.1%)	2 (0.1%)	0 (0.0%)	7 (0.4%)
横浜市内在学	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
計	1 (0.1%)	11 (0.8%)	74 (5.2%)	175 (12.5%)	386 (27.5%)	443 (31.5%)	315 (22.4%)	1,405 (100.0%)

**Q1** 横浜市は外出時の暑さ対策として、クールシェアスポットを開設していました。  
あなたはクールシェアスポットを知っていますか。  
【参考】令和7年度のクールシェアスポット開設期間：2025年6月2日(月)～10月22日(水)  
(単一選択)

n = 1,405

ア	知っていて内容も理解している	13.2%	185
イ	内容は多少知っている	26.1%	366
ウ	言葉は聞いたことがある	22.8%	321
エ	知らない	37.8%	531
無回答		0.1%	2
		100.0%	1,405



Q2 クールシェアスポットに登録してある施設では、次のロゴステッカーやポスター、卓上のぼり旗を掲示しています。見たことはありますか。

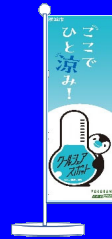
【ロゴステッカー】



【ポスター】



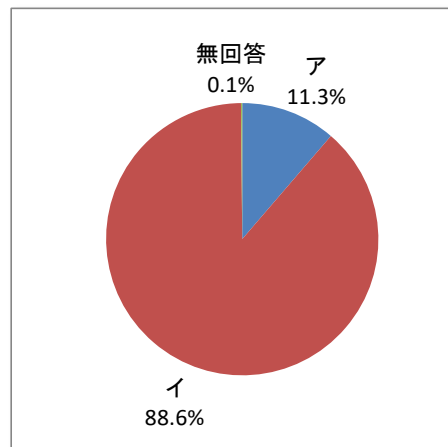
【卓上のぼり旗】



(単一選択)

n = 1,405

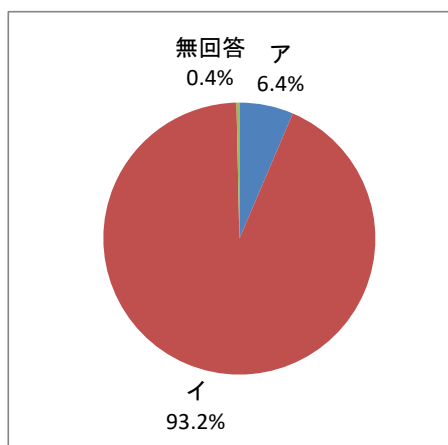
ア	はい	11.3%	158
イ	いいえ	88.6%	1,245
無回答		0.1%	2
		100.0%	1,405



Q3 あなたはクールシェアスポットを利用したことがありますか。  
(単一選択)

n = 1,405

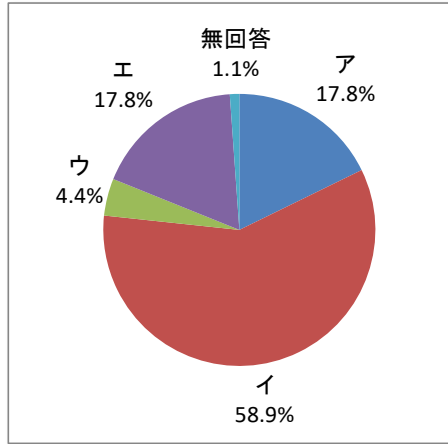
ア	利用したことがある(Q4へ)	6.4%	90
イ	利用したことはない(Q5へ)	93.2%	1,310
無回答		0.4%	5
		100.0%	1,405



**Q4** Q3で「ア 利用したことがある」を選択した方にお聞きます。  
何回程度利用しましたか？  
(単一選択)

n = 90

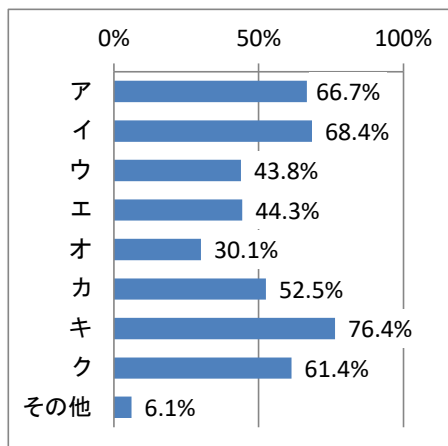
ア	1回	17.8%	16
イ	2～5回程度	58.9%	53
ウ	6～10回程度	4.4%	4
エ	10回以上	17.8%	16
無回答		1.1%	1
		100.0%	90



**Q5** どのような施設がクールシェアスポットだったら利用しやすいですか。  
当てはまるものを全てお選びください。  
(複数選択可)

n = 1,405

ア	スーパーマーケット	66.7%	937
イ	ショッピングモール	68.4%	961
ウ	百貨店	43.8%	616
エ	ドラッグストア・調剤薬局	44.3%	623
オ	病院などの医療機関	30.1%	423
カ	コンビニエンスストア	52.5%	738
キ	駅・バスターミナルの待合室	76.4%	1,073
ク	市役所・区役所などの公共施設	61.4%	862
その他		6.1%	86



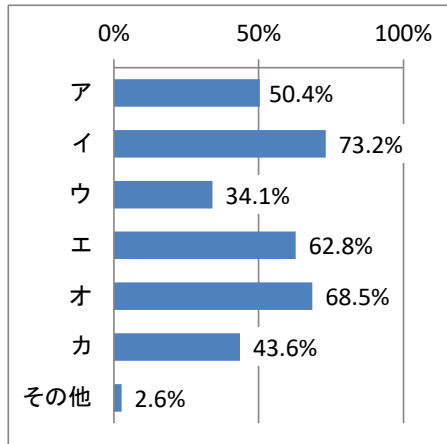
その他(抜粋)

公園
駅やバス停の待合所
横浜アリーナ、Kアリーナ、ぴあMMアリーナ、Zepp横浜、日産スタジアムなどコンサート会場

**Q6** どのようなものがクールシェアスポットのなかに設置されていると良いと思いますか。  
 当てはまるものを全てお選びください。  
 (複数選択可)

n = 1,405

ア	自動販売機	50.4%	708
イ	無料給水機	73.2%	1,028
ウ	暑さ対策になる食品(塩飴、冷却ゼリーなど)	34.1%	479
エ	ミストシャワーや冷風機の設置	62.8%	882
オ	増設された椅子やソファ	68.5%	963
カ	Wi-Fiや充電スポット	43.6%	612
その他		2.6%	37



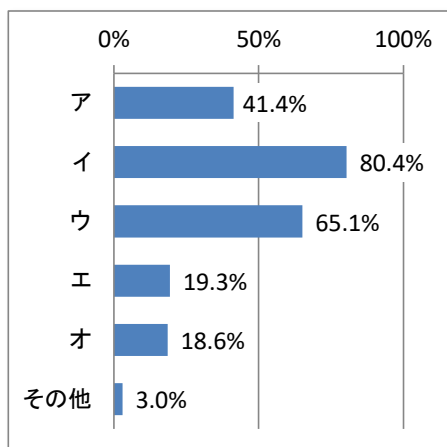
その他(抜粋)

トイレ
水分補給と座れる場所は必要だと思うが、増設や無償設置することまでは必要を感じない
緊急時用のAED

**Q7** どのようにしたらご自身がクールシェアスポットを利用しやすくなると思いますか。  
 当てはまるものを全てお選びください。  
 (複数選択可)

n = 1,405

ア	熱中症対策の知識が高まるチラシ・ポスター	41.4%	581
イ	クールシェアスポットの地図や一覧	80.4%	1,129
ウ	気温・湿度・熱中症警戒情報の掲示	65.1%	915
エ	子ども向けの熱中症予防クイズや絵本	19.3%	271
オ	スタンプラリーやポイント制度	18.6%	261
その他		3.0%	42



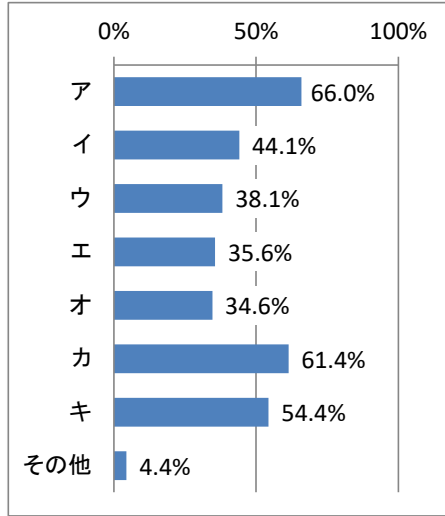
その他(抜粋)

市のウェブサイトから直接移動できる休憩施設などの情報も含めたマップ検索機能
スマホに配信されるエリアニュースやSNS広告
特別必要ないと思う

**Q8** どのようにしたらご自身がクールシェアスポットを利用しやすくなると思いますか。  
 当てはまるものを全てお選びください。  
 (複数選択可)

n = 1,405

ア	施設数を増やしてほしい	66.0%	927
イ	地域の掲示板やチラシなどで案内してほしい	44.1%	619
ウ	自治体の広報誌や市ウェブページで特集してほしい	38.1%	536
エ	対象施設を市ウェブページ等で検索しやすくしてほしい	35.6%	500
オ	SNSやLINEなどで定期的に情報を発信してほしい	34.6%	486
カ	公共施設や商業施設の入口に案内表示を設置してほしい	61.4%	863
キ	クールシェアスポットの目印(のぼり・看板など)をもっと目立たせてほしい	54.4%	764
その他		4.4%	62



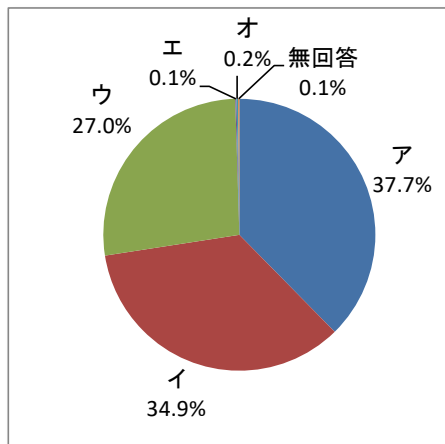
その他(抜粋)

アプリやGoogleマップで検索できる  
 ふらっと入りやすい雰囲気

**Q9** 昨年の夏は、一昨年の夏と比べて暑さ対策への関心に変化はありましたか。  
 (単一選択)

n = 1,405

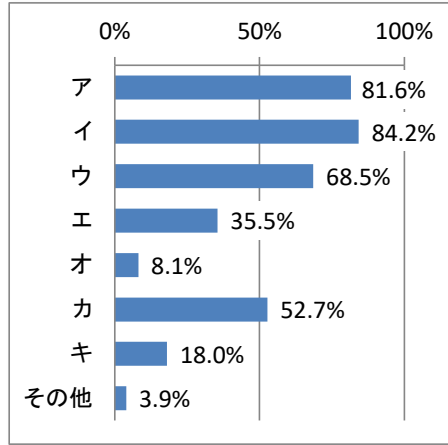
ア	とても高まった (Q10へ)	37.7%	529
イ	やや高まった (Q10へ)	34.9%	490
ウ	変わらない (Q11へ)	27.0%	379
エ	やや低くなった (Q11へ)	0.1%	2
オ	とても低くなった(Q11へ)	0.2%	3
無回答		0.1%	2
		100.0%	1,405



**Q10** Q9で「ア とても高まった」、「イ やや高まった」を選択した方にお聞きします。具体的によどのような行動に移しましたか。当てはまるものを全てお選びください。(複数選択可)

n = 1,019

ア	エアコンや扇風機などの冷房機器を適切に使用した	81.6%	831
イ	こまめな水分補給・塩分補給を行った	84.2%	858
ウ	外出時に日傘・帽子を使った	68.5%	698
エ	冷却シートや携帯扇風機などの冷感グッズを購入・使用した	35.5%	362
オ	外出時にクールシェアスポットなどの涼しい場所で休憩するようにした	8.1%	83
カ	気象情報や熱中症警戒アラートをこまめに確認した	52.7%	537
キ	行政が発信する暑さ対策・熱中症情報を確認した	18.0%	183
その他		3.9%	40



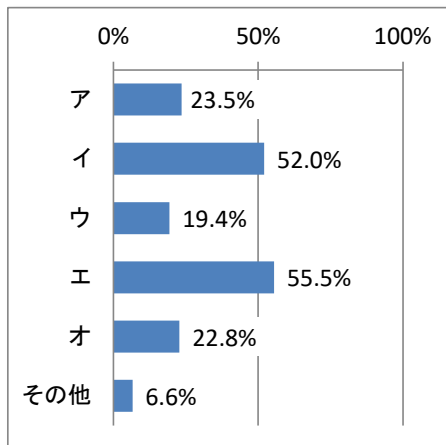
その他(抜粋)

可能な限り、図書館や役所、商業施設に滞在するようにしていた
早朝夜間など涼しい時間帯での外出
カーテンを遮熱機能があるものにして、日が当たる時間帯はカーテンとすだれを併用していた

**Q11** 横浜市では、暑さ対策の普及・啓発を目的としたイベントの開催を予定しています。参加してみたいと思うものを全てお選びください。(複数選択可)

n = 1,405

ア	専門家による熱中症予防セミナー(市民向け講座)	23.5%	330
イ	ミストや冷却機器などの「涼感体験」ブース	52.0%	731
ウ	熱中症対策を学べるスタンプラリー・クイズ企画	19.4%	272
エ	暑さ対策グッズの展示・体験コーナー	55.5%	780
オ	熱中症予防ワークショップ	22.8%	320
その他		6.6%	93



その他(抜粋)

特にない
電気代や暑さ対策グッズへの補助
熱中症の危険度の自己診断ができるツール

Q12 暑さ対策について、ご意見がございましたら、ご自由にお書きください。  
(自由意見)

(抜粋)

猛暑の際の小学生の登下校が心配です。
日影を多くするだけでもかなりの効果があると思う。
昨年の経験からエアコン、扇風機などを適切に使う。日中の酷暑を避けて朝、夕の時間を有効に使う。常に冷却シート等を準備しておく。水分を適切にとる。などを気をつけている。
猛暑が当たり前の様な日々が続いていく昨今。対応していく事を考えて生活していかなければならないので、情報等を大いに活用利用したい。
野外にいて暑さで倒れそうになったときの避難場所は多いに越したことはないので、施設に迷惑がかからない範囲でどんどん増やしてほしい。
日陰での暑さ対策は有効だと思う。手軽に日陰を体験できる場所又は簡単に作れる方法を教えてほしい。
ファン付きウェアを、より多くの方が当たり前に着用するように普及してほしい。現在は、着用していると目立ってしまい、日常生活で取り入れるには少し抵抗がある。しかし、小学生や高齢者の方をはじめ、誰もが夏の暑さ対策として自然に身につけられるような雰囲気広がれば、大きな助けになると感じる。
広報やニュースなどで暑さ情報や対応情報や涼める場所などをしっかり周知してほしい。
横浜市や区からの広報は見えますが、いざ外出するとクールシェアスポットのことは忘れてしまうので、出先でも分かりやすく宣伝をしていただきたい。またクールシェアスポットには椅子の設置が望ましいが、難しい場合は、給水スポットだけでももっと増やしていただきたい。水分補給だけでも熱中症防止にはつながると思う。